

# 2025-26 年度

WEEKLY REPORT ROTARY CLUB OF FUKUSHIMA WEST. D2530

よいことのために  
手を取りあおう

第  
2530  
地区

## 福島西ロータリークラブ会報

会長 宮崎 秀剛  
幹事 佐藤 卓立  
奉仕プロジェクト  
委員会委員長 大平 謹一郎  
会報写真担当 朝倉 久仁男

令和 8 年 1 月 26 日(月) 第 19 回 通算第 1752 回例会

・ 例会日/月曜日 12:30 ・ 例会場/ウエディングエルティ ☎ (024) 535-6188

事務所/福島市万世町 2-5 福島銀行本店 9F ☎ (024) 536-1010・FAX (024) 536-1011 Eメール/ f-rotary@guitar.ocn.ne.jp

### 創立 42 周年記念夜間例会

◇開会点鐘

宮崎 秀剛 会長

◇ロータリーソング

「奉仕の理想」  
ソングリーダー

西形 健吉 会員



◇四つのテスト唱和

職業奉仕委員長

高梨 哲男 委員長



◇物故会員へ黙祷

◇ご来賓・ご招待者紹介

国際ロータリー第 2530 地区

パストガバナー 右近 八郎 様

国際ロータリー第 2530 地区

県北第一分区ガバナー補佐 相良 元章 様

国際ロータリー第 2530 地区

県北第一分区幹事 三宅 一秀 様

福島ロータリークラブ会長 佐藤美奈子 様

福島ロータリークラブ幹事 佐藤 充孝 様

米山記念奨学生 イェブ・シャオティン さん

◇会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長



皆さま、こんばんは。

全国的に寒波が到来し、積雪が 100 センチを超える地域もあるようです。皆さま、いかがお過ごしでしょうか。

本日は、創立 42 周年記念夜間例会であり、先日よりご案内してまいりました「100%出席例会」となります。皆さまとこうして顔を合わせられますことを、大変うれしく思っております。

先ほどは記念事業として、社会奉仕委員会・高橋智弘委員長をはじめ 5 名にて、こむこむ内の市立図書館こどもライブラリーへ図書寄贈を行ってまいりました。ご報告いたします。

本年度のクラブスローガンは「基本に忠実、変化に対応」です。

また、2530 地区・県北第一分区の方針にも「充実した例会の実施支援」が掲げられており、相良ガバナー補佐はこれを「例会ルネッサンス」と表現されています。

予定者段階の会長幹事会において、「福島西ロータリークラブさんにはぜひ 100%出席例会達成をお願いしたい」との依頼がございました。

なぜ「100%出席例会」が求められるのか、私なりに考えてみました。

県北第一分区 7 クラブの中で、相良ガバナー補佐にとって最も声を掛けやすかった、という理由もあるのかもしれません。しかし、それ以上に、これがクラブにとって良いきっかけになるとお考えになったのではないかと思います。

「波風を立てる」という言葉があります。

一般的には、

- ・ 余計なトラブルや争いごとを引き起こす
  - ・ 平穏に進んでいる状況に問題を生じさせる
- といった意味で使われます。

静かな水面に波や風を起こすように、本来は穏やかでいたい場に不必要な刺激を与えてしまう、というマイナスのイメージです。

しかし、この言葉は文脈によっては肯定的な意味を持つこともあります。

良い意味での「波風を立てる」とは、

- ・ 停滞した状況に刺激を与え、前向きな変化を促す

惰性やマンネリを打破する。

- ・ 必要な問題提起を通じて、組織や人間関係をより良くする。
- ・ 新しい価値観やアイデアを持ち込み、活性化させる。

といったことを指します。

つまり、あえて静かな水面に小さな波を起こすことで、成長や改善につながる動きを生み出すというニュアンスです。

今回の「100%出席例会」も、きっとそのような意図があったのではないかと感じております。

ロータリーにとって、奉仕の心を分かち合う私たちが笑顔を交わせることは、何よりの喜びであり、特別なひとときであります。

後ほど記念写真の撮影もごございます。皆で創立記念をお祝いしましょう。

本日も最後までどうぞよろしく願いいたします。

## ◇ご来賓あいさつ

### ●国際ロータリー第2530地区パストナー

右近 八郎 様



### ●福島ロータリークラブ会長

佐藤 美奈子 様



ただいまご紹介頂きました2025-26年度福島ロータリークラブ会長の佐藤美奈子と申します。

本日は、福島西ロータリークラブ創立42周年記念夜間例会が盛大に開催されますこと心よりお慶び申し上げます。

また、創立記念夜間例会にお招きいただき、誠にあ

りがとうございます。

さて、創立42周年に当たり、一言お祝いを申し上げます。

福島西ロータリークラブは、1984年(昭和59年)1月30日創立、同日認証され福島市内6番目のクラブとして誕生された福島市内の名門クラブの一つです。

本年は、宮崎秀剛会長、佐藤卓立幹事の下、「基本に忠実、変化に対応」をクラブのスローガンに掲げられ、諸先輩方が築き上げた伝統と歴史を大切にしながら、多様化やデジタル化など急速に変化する社会情勢に対応し、様々な活動に力を注いでいらっしゃいます。

28回を迎える少年野球大会を主催されたほか、当クラブのスポGOMI大会にも参加され、福島駅東口駅前で開催される麻薬撲滅啓発活動にも多くの会員と参加されるなど、地域に根差した奉仕活動をされ、先日の地区大会でもクラブ優秀賞など多くの賞を受賞されております。

特に宮崎会長は、青少年育成への取り組みや若手会員の参加促進と育成、次世代リーダーの発掘にも力を入れ、一緒に活動したいと思っていただけるようなクラブの雰囲気づくりを大切にされているとお伺いしております。

実は今から6年前に創立記念夜間例会に右近八郎PGと出席させていただき、クラブがとても和やかで、温かい雰囲気でしたので、本日参加させていただくことを楽しみにしていました。

また、個人的には、米山記念奨学生のイェブシャオティンさんが、私が3年間暮らし、私も子ども達も大好きなマレーシアペナン州の出身と福島西RCの会報で知り、本日シャオティンさんとお会いして、お話しすることも大変楽しみにして参りました。

シャオティンさんもペナン州の紹介をされていましたが、ペナン州は人がとても温かく、時間がゆっくりと流れ、何よりも子ども達の目がキラキラしていましたので、私も子ども達も大好きな場所で、時間が出来たら、また必ず行きたいと思っています。

結びに、今後福島西ロータリークラブが、宮崎会長が進められている時代の変化に対応しながら、笑顔で居心地の良いクラブ運営に取り組みられ、青少年育成や地域発展に貢献され今後益々活躍されますこと、そして、会員皆さまのご健勝ご多幸を祈念し、お祝いの言葉とさせていただきます。

本日は誠にありがとうございます。

## ◇記念事業報告

宮崎 秀剛 会長



○右近八郎パストガバナー

阿久津 PG が欠席されています。力不足ですが代役のような役回りで恐縮しております。本日はありがとうございます。

○相良ガバナー補佐

福島西 RC 創立 42 周年記念夜間例会の開催誠にありがとうございます。

○福島 RC 佐藤美奈子会長

福島西 RC 創立 42 周年おめでとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

○三宅分区幹事・福島 RC 佐藤充孝幹事

福島西 RC 創立 42 周年おめでとうございます。本日はよろしくお願ひいたします。

○宮崎秀剛会長

本日の創立記念夜間例会にお集まりいただき有難うございます。皆で盛大にお祝いしましょう。

## ◇幹事報告

佐藤 卓立 幹事

## 委員会報告

### ◇委員会報告

プログラム・出席・スマイリングボックス小委員会報告

久米 允彦 会員



佐藤卓立幹事／新開文雄会員／松林克次会員／小野俊憲会員／蔣慧豊会員／西形健吉会員／高根典子会員／寺島英樹会員／高橋達也会員／佐藤宗弘会員／大平謹一郎会員／高梨哲男会員／佐久間政文会員／朝倉久仁男会員／黒澤信之会員／行方裕司会員／高橋智弘会員／野尻榮一会員／穴戸順一会員／佐藤慶行会員／久米允彦会員



◇閉会点鐘

宮崎 秀剛 会長

## 懇親会 19:00

司会：親睦活動委員会 宍戸 順一 会員

◇開会のことば 佐藤 卓立 副会長



◇くす玉割り  
 国際ロータリー第2530地区  
 県北第一分区ガバナー補佐 相良 元章 様



◇乾 杯  
 国際ロータリー第2530地区  
 県北第一分区ガバナー補佐 相良 元章 様



## ◇懇親



◇アトラクション  
—— あづま勇舞伝心 ——



◇閉会のことば 寺島 英樹 会長エレクト  
◇会報カメラ担当 朝倉 久二男 公共イメージ委員会委員長

## 創立記念事業 「福島市こむこむ館への図書寄贈」

日 時：2026年1月26日（月）15：00～  
場 所：こむこむ館 子どもライブラリー  
出席者：宮崎秀剛会長・佐藤卓立幹事・高橋智弘社  
会奉仕委員長・SAA 佐藤宗弘会員

### 【式次第】

◇開会 藪内 雄治 館長  
◇福島西 RC 会長あいさつ

宮崎 秀剛 会長  
本日は、福島市立図書館ならびに子どもライブラリーの皆さまにおかれましては、ご多忙のところ、私どもの図書寄贈に際し、このような温かい贈呈の場を設けていただき、誠にありがとうございます。

また、福島市教育部長・橋本江理様、図書館長・藪内雄治様、図書サービス係長・齋藤鈴恵様をはじめ、市の皆さまにご臨席賜りましたこと、心より御礼申し上げます。

私たち福島西ロータリークラブは、本年、創立42周年を迎えました。

これまで地域の皆さまに支えられ、奉仕活動を続けてこられたことへの感謝を形にしたいという思いから、今回の記念事業として、子どもたちの未来に役立つ図書の寄贈を企画いたしました。

読書は、子どもたちの想像力を育み、学びへの意欲を引き出し、人生の選択肢を広げる力を持っています。今日お届けする本が、子どもたちにとって新しい世界と出会うきっかけとなり、未来へ向かう力の一助となれば、これに勝る喜びはありません。

私たちロータリークラブは、「奉仕の理想」を胸に、これからも地域社会のためにできることを一つひとつ積み重ねてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

結びに、本日の贈呈式の開催にあたりご尽力いただきました皆さまに、改めて深く感謝申し上げます。

本日は誠にありがとうございました。



「多くの人とお出会いがその人の成長を促すように、様々な絵本との出会いは子どもの心を育て、人生をより深く生きる力を与えてくれます。

今回、多数の新刊が配置されることによってさらに多くの出会いが生まれると同時に読書から得られる知識や感動は子どもたちにとって一生ものの財産となり、地域発展に資するものと思います。」

◇感謝状贈呈

橋本 江理 教育部長

◇教育部長あいさつ

橋本 江理 教育部長

◇閉会

